



まっかり

議会だより

第 165 号

2018年8月号

発行／真狩村議会

編集／議会広報編集委員会



今年も真狩高校生と小学生の学校間連携事業「大豆学習」が始まっています！

<主な内容>

平成30年第2回定例会

- ・行政報告……………2
- ・教育行政報告………6
- ・一般質問……………9
- ・審議結果……………12

2

平成30年第3回臨時会

14

平成30年第4回臨時会

14

総務産業常任委員会

15

議会活動

18

平成30年 第2回 定例村議会

定例会の概要

平成30年第2回定例村議会は、6月19日に招集され、会期を1日間と決めた後、村長の行政報告、教育長の教育行政報告、2名の議員による2項目の一般質問、後志教育センター組合議会議員の選挙を行い、繰越明許費に係る報告1件、専決処分の承認2件、人事に係る同意1件、条例の一部改正2件、一般会計及び特別会計補正予算4件、発議2件を審議し、いずれも原案のとおり可決し、閉会しました。

また、定例会の開会前には、北海道町村議会議長会自治功労者表彰（議員15年以上）を授与された印南正治議員に対し、表彰状の伝達が執り行われました。（詳細は、18ページ「議会活動」に記載）



▲板敷議長より伝達を受ける印南議員

行政報告

佐々木村長

羊蹄山麓消防組合 山岳救助隊発足！ 今後の活躍に期待！

平成29年度各会計決算状況

平成29年度一般会計は、歳入決算額 30億9495万5028円、歳出決算額30億3625万1986円となり、差引額 5870万3042円を平成30年度に繰り越すこととなりました。この額から、繰越明許費の平成30年度に繰り越す一般財源1000円を差し引いた実質収支は、5870万2042円となります。

国民健康保険事業特別会計は、後志広域連合が保険者として運営を行い、保険税の賦課・徴収、各種届出や申請の窓口業務などは各町村が担う中、その運営に掛かる必要額を予算執行しました。歳計剰余金は273万5121円となり、同額を繰越金としました。

国民健康保険診療所事業特別会計は、全身

複合温熱治療器や自動除細動機（AED）などの医療機器の更新等を行うなど、住民が安心して受診できる環境づくりに伴う予算を執行する中、繰越金はありませんでした。

後期高齢者医療特別会計は、北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、脳ドックや各種健康診断等を行うなど、高齢者の健康管理に努める中、各町村は各種申請等の窓口業務や保険料の徴収などを担い、その運営に掛かる必要額を予算執行しました。歳計剰余金は、1万8400円で、同額を繰越金としますが、次年度に保険料負担金として広域連合に納めます。

簡易水道事業特別会計は、老朽化した配水管の布設替えや給水管の接続工事、流量計の機器更新などを行い、安全な水の安定供給に伴う予算を執行しましたが、決算で24万9404円の収支不足が見込まれたため、平成30年度

予算の歳入を繰り上げて補てんすることになりました。収支不足となった要因は、見込んでいた起債借入額が、最終決定額を下回ったことによるものです。

公共下水道事業特別会計は、浄化センター長寿命化計画に沿って、機器更新実施設計に

取り組むなど適正な維持管理に努め、快適な生活環境の向上を図るための予算を執行する中、277万2234円を次年度に繰り越しますが、下水道使用料が収入見込みを上回ったことと修繕費等の執行残によるものです。

■平成29年度 真狩村各会計決算の概要

(単位：円)

会計区分	予算額	歳入決算額	率る予	歳出決算額	率る予	歳入歳出
			(%)		(%)	
一 般 会 計	3,174,391,000	3,094,955,028	97.50	3,036,251,986	95.65	58,703,042
①平成29年度予算分	2,742,410,000	2,662,979,118	97.10	2,604,319,645	94.96	58,659,473
②平成28年度からの繰越明許分	431,981,000	431,975,910	100.00	431,932,341	99.99	43,569
国民健康保険事業特別会計	176,132,000	177,994,880	101.06	175,259,759	99.50	2,735,121
診療所事業特別会計	13,805,000	13,578,210	98.36	13,578,210	98.36	0
後期高齢者医療特別会計	30,727,000	30,477,755	99.19	30,459,355	99.13	18,400
簡易水道事業特別会計	293,709,000	293,005,604	99.76	293,005,604	99.76	0
公共下水道事業特別会計	127,779,000	128,592,394	100.64	125,820,160	98.47	2,772,234
総 計	3,816,543,000	3,738,603,871	97.96	3,674,375,074	96.27	64,228,797

農作物の生育状況

今年の融雪は、平年並みとなり4月中旬からの好天により春耕作業も平年並みに開始され、5月上旬は、平均気温が高く全般的に植付け・播種作業は順調に推移しています。また、農作物の生育も植付け後の好天に恵まれ、適度な降雨もあり順調に推移しています。

現在、収穫されているグリーンアスパラは、5月7日頃から収穫が開始され、5月22日から23日にピークを迎えました。JA出荷量は、気温の上昇とともに増加傾向となり5月18日には粗原料で9トンを上回りました。5月末

時点でのJA出荷量は前年同時期対比109%程度となっています。

長期予報によると、6月から8月は気温は高めで推移し、降水量も多い見込みとなっていますので、十分な施肥管理の下、豊穰の秋を迎えられるよう期待します。



■農作物の作況

(H30.6.1現在 後志農業改良普及センター調べ)

作物名	作物の生育状況	摘要
馬鈴しょ	植付け作業は順調に進み、植付は平年並みに終了した。	植付期：5/23
てん菜	移植作業は順調に進み、移植はほぼ平年並みに終了した。活着は平年並みで、移植後の好天により生育は、草丈・葉数とも平年を上回っている。	移植終：5/21
小豆	播種作業は順調に進んでおり、播種期は平年より2日早かった。	播種期：5/30
大豆	播種作業は順調に進んでおり、播種期は平年並みである。	播種期：5/28
秋播小麦	5月の好天により生育は進み、止葉期は平年より4日早かった。草丈は平年より長く、茎数はやや多い。	止葉期：5/27
だいこん	播種作業は、ほぼ計画どおり進んでいる。生育は順調である。	
にんじん	播種作業は順調に進んでおり、晩春まき作型の播種がほぼ終了した。5月上旬の適度な降雨により出芽、生育ともに順調である。	
ゆり根	気温が高く推移し、秋植え・春植えの萌芽期が早まった。 ○春植え作型：萌芽期5/18（平年5/22） ○秋植え作型：萌芽期5/19（平年5/20）	
アスパラガス	5月中旬の好天により生育・収穫作業は順調に進んでおり、収量・品質ともに高く推移している。	
牧草	生育は平年並みである。	

観光客の入込み状況

平成29年度の観光客の入込み状況は、道内の観光入込数の増加に伴い、ニセコを中心とした地域でも増加しています。

当村全体の入込み総数も、87万1026人、前年度対比107.3%と増加しました。

羊蹄山自然公園関係では、近年のアウトドアブームなどによりキャンプ場を中心に増加傾向にあり、キャンプ場は前年度対比100.9%と前年を若干上回りました。さらに近年の冬山登山ブームもあり、冬期入込み調査をしたところ、12月から3月までの登山者は194人となりましたが、社地区の墓地からの登山者も多く、実態はつかみきれない状況です。

森林学習展示館は、前年度対比125.0%と大幅な増加となりました。園地ほか施設の入込みもアスレチック遊具の一部入替などにより

前年度対比140.5%と大幅な増加となり、自然公園全体では前年度対比119.4%と増加しました。



▲森林学習展示館

まっかり温泉は、前年度対比104.1%と増加していますが、コテージなど村内全宿泊施設は、前年度より減少しています。まっかり温泉の入込み増を図るため、商工会と協議し、引き続

き真狩周遊券、各種イベント、PRの取組を行います。

フラワーセンターは、前年度対比97.6%と減少しました。今後とも、温泉と同様、イベントの計画、PRに積極的に取り組みます。

パークゴルフ場は、入込み増を目指し、引き続き真狩村長杯パークゴルフ大会の開催や後志10町村が連携したスタンプラリー事業を実

施し、一定程度の効果はあったものの減少傾向は止まらず、前年度対比91.3%となりました。今後も各種大会の実施を通じ、利用者の増加を図ります。

今後は、村内の各観光施設の連携と各種イベントの開催を考えながら、観光客を始め、来訪者の増加を目指し、取組を進めます。

■平成29年度 真狩村観光客入込み状況

(単位：人)

施設名	森林学習 展示館	キャンプ場	羊蹄山 登山	園地ほか 施設	羊蹄山自然 公園計	まっかり 温泉	世界のユリ園	
								コテージ宿泊
29年度	10,961	6,161	4,891	14,565	36,578	76,836	29,038	2,755
前年度	8,770	6,104	5,392	10,366	30,632	73,788	27,128	2,823
前年対比	125.0%	100.9%	90.7%	140.5%	119.4%	104.1%	107.0%	97.6%

マッカリーナ	フラワー センター	パーク ゴルフ場	細川たかし 記念像	湧水 (横内観光)	その他(ユース、 グズベリ、 エコプラス)	イベント	合計
10,331	142,443	5,096	45,361	509,402	2,938	11,901	871,026
10,439	145,967	5,581	38,276	465,847	3,172	9,750	811,706
99.0%	97.6%	91.3%	118.5%	109.3%	92.6%	122.1%	107.3%

羊蹄山ろく消防組合山岳救助隊

近年増加する登山客やバックカントリースキーなどの山岳事故に対応するため、平成28年から装備の調達や厳しい訓練などの準備を取り進めていましたが、去る4月10日、本格運用に向け、羊蹄山ろく消防組合山岳救助隊の発隊式が消防総合庁舎で挙行されました。

山岳救助隊は、1署6支署から救急救命士8名を含む精鋭16名で組織され、本村支署からも1名参加しておりますが、救助と救急の活動を並行して行い、災害発生時には、各所属から災害現場へ参集し活動にあたるほか、事故防止啓発のための山岳パトロールも行います。

山岳での救助は、平地の救助とは様相を異にし、高度な救助技術と豊富な知識、強靭な身

体・精神力が求められるため、それらを身に付けるために高い意識と限界に挑戦した訓練を警察や自衛隊などと機関の枠を超えて、積み重ねてきました。

これからは登山のシーズンですが、命名を受けた隊員の奮闘努力に大いに期待します。



▲山岳救助隊のみなさん

株アグリテック真狩「農産物処理加工施設」落成式

4月24日、共明地区に完成した株式会社アグリテック真狩「農産物処理加工施設」の落成式が行われ、これから始まる操業の安全祈願と併せて工場内施設・機器の内覧会がありました。施設では最新の処理機器を備え、衛生管理にも十分配慮されており、本操業に向け期待を大きくしたところです。

株式会社アグリテック真狩は、平成28年4

月に本村の農業者とパイオニアジャパンとが連携して設立された法人で、この農産物処理加工施設は、平成28年度に農林水産省の産地パワーアップ事業に採択され、平成29年度に事業費を繰り越して施工され、完成しました。

地場産農産物をチルドじゃがいもなどに加工処理し、付加価値をつけて販売されることによる農業者の所得増、そして、本村で起業されたことによる地域住民の雇用の場の創出などの効果も期待されており、当社のますますの発展を祈念します。

真狩村緑岡太陽光発電施設

かねてより協議を進めていた太陽光発電施設は、去る6月14日に地鎮祭を執り行い、建設に向け事業着手の運びとなりました。

これまで2度の事業期間の変更がありましたが、事業内容の変更はなく、出力750kwの中規模施設で、95世帯分の電力の供給が可能となっています。敷地は村有地の賃貸借により、面積2万1千㎡の中に2900枚のソーラーパネルを設置し、総事業費は1億4千万円となります。

今後は9月完成・通電に向け工事を施工することとなります。

事業主の「くにうみエナジー」は、再生可能エネルギーの発電事業を手掛けており、三笠市では既に操業を開始し、今回真狩村を始め、函館、苫小牧、余市にも事業を展開する計画があります。

真狩村でも地球温暖化防止に向けた、環境に配慮したクールチョイス運動を推進しており、自然エネルギーの導入により遠方での災害の影響が少ない、電力の地産地消を図り、安全な暮らしに役立つ取組として期待します。

教育行政報告

藤澤教育長

真狩高校バレーボール部 男女共に今年も全国大会出場決定！！

各学校の状況

新学期がスタートし、3か月近くが過ぎますが、1人も欠けることなく、真狩小学校88名、御保内小学校9名、真狩中学校52名、真狩高校98名（第4学年1名含む）が学校生活を送っています。

○小学校

5月2日に真狩小学校、5月8日に御保内小学校で「自転車教室」が開催され、登下校及び放課後、休日などの自転車の乗り方についての

交通安全指導が行われました。

また、防災訓練が5月7日に真狩小学校、14日に御保内小学校で実施され、いつ起こるかわからない災害への対応を図っています。

運動会は、6月9日に真狩小学校、10日に御保内小学校で開催されました。当日は、初夏を迎える季節には寒さを感じる天候でしたが、多くのご観覧をいただく中で、児童たちは元気に各種目に取り組みました。

スポーツ少年団活動では、真狩バレーボール少年団が、5月13日に開催された「ファミリーマートカップ第38回全日本バレーボール小学

生北海道大会後志地区予選会・男女混合の部」で優勝し、7月7日から8日に開催される全道大会への出場が決定しています。

○中学校

5月8日から10日にかけて、2泊3日の日程で「修学旅行」が行われ、5月26日には「体育祭」が開催されました。

部活動では、野球部、バレーボール部、バドミントン部が、前哨戦となる各種大会に出場する中、6月下旬から開催される中体連後志大会に向け、練習を重ねています。3年生にとっては、いずれも中学校生活最後の行事・大会となります。それぞれが、楽しい思い出の一つとして心に刻んでいただくとともに、これまでの練習の成果を思う存分、発揮していただきたいと思えます。

○高校

5月26日に北海道高等学校定時制通信制体育連盟後志地区大会が、バドミントンは小樽市

で、バスケットボールはニセコ町で、バレーボールは本村でそれぞれ開催され、男子・女子バレーボール、男子バスケットボール及び女子バドミントンで団体優勝し、女子バドミントン個人戦では、1位・2位・3位となり、6月16日・17日に旭川市で開催された全道大会に出場しました。その結果、男子バスケットボールは、残念ながら惜敗しましたが、バドミントン女子団体は3位、個人戦でも3位となりました。しかし、大会規定により全国大会への出場は叶わなかったものの、バレーボール男子・女子は共に優勝し、8月1日から神奈川県で開催される全国大会に出場します。

6月1日には「校内意見発表大会」が開催され、クラス代表12名の発表があり、成績上位3名の生徒が、6月28日に壮瞥町で開催される「北海道学校農業クラブ意見発表大会」に真狩高校の代表として出場することになりました。

学校教育の主な取組

○いじめ・不登校

現在「いじめ」の報告はなく、また長期にわたる不登校はありません。

今年度は、成長過程において、心も体も発育・発達途上にある子どもたちの健全な成長を育むために、スクールカウンセラーを定期的に派遣し、相談・指導体制のさらなる充実を図りたいと考えます。

○学力向上に向けた取組

各学校では、確実な基礎学力の定着に併せ、家庭学習の習慣化を図るとともに、新たな学習指導要領に基づいた学習指導を進めています。

4月17日には、「平成30年度全国学力・学習状況調査」が行われ、今回から国語、算数（中学校は数学）に併せ、新たに理科が加わり実施されましたが、正式な集計結果がまとまり次第、報告します。

○真狩高校の運営

新たに2年生のコース選択も終了し、それぞれコース別の取組が実施されています。

「有機野菜コース」では、5月14日から19日にかけて溶接実習が本別町道立農業大学校で

行われ、3年生14名が「ガス・アーク溶接」の資格取得に取り組み、全員が合格を果たしています。また、2年生は、5月19日にフラワーセンターで「野菜苗・多肉植物即売会」を開催しました。当日は、雨天にもかかわらず、多くの来客がある中、担当した生徒たちは、濡れながらの接客に努めていました。

「野菜製菓コース」では、5月3日に高校生カフェ「ラミッカ」が開店され、人気のスイーツが短時間のうちに完売しました。また、5月14日から19日にかけて、2年生8名・3年生15名が札幌市の専門学校でのスクーリングを終了しています。今年度も製菓衛生師資格試験に全員合格を目指しています。



▲真狩高校入学式

1年生は、5月17日から19日にかけて、森町の「ネイパル森」で宿泊研修を実施し、集団生活を体験しました。

少子化が進む中で、ますます厳しさを増す生徒募集ですが、今年度は、45名の入学希望者が

ありました。この結果におごることなく、これからも村内外の多くの生徒に選択していただき、また、保護者の皆様から信頼される魅力ある高校づくりを目指します。

社会教育

○第9期真狩村社会教育中期計画

昨年度に策定した「第9期真狩村社会教育中期計画」の初年度を迎え、新たな気持ちで各種事業がスタートしています。本計画からは、事業ごとに1年間の成果について評価をいただく中、見直しを含め、検証していき、事業をより効果的、効率的に推進したいと考えます。

○各種行事の取組

今年度で49回目を迎える「村民大運動会」は、6月1日に実行委員会を組織し、7月1日の開催に向け、準備を進めています。本大会については、昨年度にアンケートを実施し、村政懇談会で村民の皆様と協議させていただきましたが、50回大会まで継続し、その間に見直しを含め、方向性を協議することにしていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

「細川たかし杯パークゴルフ大会」は、運営委員会を6月11日に立ち上げ、8月18日の開催に向け、準備・調整を行っています。参加人数

の制限はありますが、多くの皆様の参加を期待します。

6月12日には、村内在住の60歳以上の方を対象に、生きがいをもって、いつまでも元気で、いきいきと暮らしていただくために「桂長寿大学」を開校し、86名の参加をいただきました。

6月17日には、羊蹄山南登山コースの山開きに併せ、「南こぶ山登山会」を開催しました。当日は気温が低く、寒さを感じましたが、多くの参加者がありました。



▲南こぶ山登山会

教職員の働き方改革

今、国では「働き方改革」が進められています。特に教職員の勤務時間が問題とされており、文部科学省、スポーツ庁では教職員の働き方改革に向けた一定の見解が示されています。

北海道教育委員会でも学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」を策定し、全道の自治体に働き方改革を進めるための計画策定が求められています。

本村でも、教職員の心身の健康を考え、授業や授業準備等に集中できる環境を構築し、少しでも子どもたちと向き合う時間をつくることを目的に、計画を策定しました。

「閉庁日の設定」・「部活動の休養日を含めた指導の軽減」など、実施に向けては保護者をはじめ、地域の皆様が学校の強力な応援団として一体となった取組が必要とされていますので、ご理解とご協力をお願いします。



一般質問

2名の議員から2項目について質問がありました。
その内容を要約してご紹介いたします。

道道岩内洞爺線(真狩～ニセコ間) の道路改良について

Q 早急に改良が必要な箇所の関係機関等への要請の経緯と、今後の対応は？

A 過去に要請をし、事業着手されたが、用地補償問題等により中止となった。クリアすべき課題は多いが、早期改良に向け、継続して強く要請していく。

質問 陰能議員

道道岩内洞爺線については、本村中心部を通る重要な路線であり、北海道においても、真狩～留寿都間の道路改良工事を進めるなど、適時維持管理に努められている。



真狩～ニセコ間では、特に社地区の青少年の森入口から富里入口までの区間で、夏場の混雑と冬季のスリップ事故の増加により、早急な改良の必要性があると考えます。村としても、関係機関等への要望等を行ってきたかとは思いますが、これまでの経緯と今後の対応について村長の考えを伺う。

答弁 村長

ご指摘の路線は、議員仰せのとおり、ニセコ町界から留寿都村界にかかる本村中心部を通る重要な路線であり、昭和38年に現在の道道岩内洞爺線として昇格し、



自動車の普及に伴い札幌からニセコへの観光ルートとしても交通量が多くなっている。以前から樹木園入口周辺での事故はあったが、近辺の商業施設等の整備により、夏季には水汲み場への出入時の事故や渋滞が見られ、冬季にはスリップ事故、路外逸脱による事故などが多発している。

この路線の改修工事は、過去に羊蹄でんぷん工場入口の真狩寄りまで終了している。当時の小樽土木現業所への引き続いての改修を要望した結果、平成17年度には北海道単費での調査設計、平成18年度には新規で交通安全第1種事業として予算化され、事業着手となったが、用地確保での地権者との補償合意が得られず、事業が中止となっている。

現在、村では、地域社会資本整備推進会議の場において、本路線の改良工事の要請を継続して行っており、事業着手のめどは立っていないが、羊蹄でんぷん工場入口付近から羊蹄自然公園入口付近までの総延長620mの線形が確定しているとの報告を受けている。平成29年度は、軟弱地盤の解析、平成30年度は区間内2か所に交錯するBOX設計の一部を行うとのことだが、用地補償やでんぷん工場使用の取水経路の確保、樹木園や地先入口道路の協議など、種々課題をクリアしていかなければならないと考える。

重大事故の発生につながりかねない区間なので、今後も早期の事業採択、早期完成を道へ強く要望していく。



▲冬季スリップ事故多発箇所（青少年の森入口）

質問 陰能議員

平成17年当初の話は多少聞いていたが、権利関係等の事情も当時から変わってきており、少し改良に向けて動き出したということは、要請の成果かと思う。

昨今、交通事故は自己責任と言いながら、外国人観光客、あるいは高齢化により、運転の技量はどんどん下がっており、この流れは止められないので、一刻も早く、引き続きしつこいくらいの道路改良の要請をしていくべきと思う。

後志総合開発期成会などの中で真狩村として、道道改良、あるいは公営住宅、上下水道整備等について関係各所に要請しているようだが、現在、村単独で陳情・要請行動は取り組んでいるか。

答弁 村長

この道路区間に限った要請行動等はしていないが、自民党支部等の要請会等において、お願いをしている。

豊浦京極線の道路改修工事と併せて、本村簡易水道の布設替工事を行っているが、道道の改修があまり進まないという情報もある中で、水道工事は、どうしても平成34年には完了しなければ、補助対象外となることもあるので、今回指摘のあったニセコ洞爺線の改修、また豊浦京極線の改修について、当然小樽建設管理部真狩出張所にも要請をしていかなければならないし、小樽建設管理部にも要請をしていかなければならないと考える。

質問 陰能議員

ただいまの答弁では、これから要請をしていかなければならないという解釈でよろしいか。

ニセコ洞爺線の社地区の区間は、従来の商業・観光施設のほかに、近年、そば屋、キャンプ場、カフェ等のオープンにより、観光道路としての脚光を浴びようとしており、これから開発が見込まれるニーズがあるのではないかと思う。そういった観点からも、全体の要望を各方面へ引き続き力強くやっていくべきと思う。

答弁 村長

今までは、村単独で北海道・小樽建設管理部への要請活動は行っていない。その中で、今回の青少年の森の入り口の区間等々も併せて、小

樽建設管理部等へ村単独で要請活動をこれから速やかに行っていきたい。

質問 陰能議員

国道230号線から5号線に向けてのこの区間は道道ではあるが、後志の中でも大変重要な区間である。いろいろな懸案事項はあるかと思うが、村としても力強く要請活動を行っていただきたい。

答弁 村長

この道道の改修工事については、留寿都の国道230号線、ニセコの国道5号線の中継道路という観点からも、北海道へ村単独で要請活動を行っていく。

真狩フラワー振興公社の運営について

Q 従前とは違う販売環境の変化の中で、今後どのような運営を目指していくか？

A 売上げ減少の著しい園芸部門を縮小し、新鮮・安全な地場農産物の販売にシフトしながら、経営の改善を図りたい。

質問 佐々木議員

近年、近隣町村の大型ホームセンターの影響により、フラワー振興公社の売上げの約4割弱を占める園芸部門の売上げが減少し、全体の利益確保が難しい状況となっている。また、



近隣町村へのドラッグストア等の進出により、消費者の動線に変化が生じ始めている。このような従前とは違う販売環境の変化の中で、本年度は総務省の公営企業経営支援人材ネットを活用しながら運営の改善を検討していくということは理解するが、村長としてどのような運営を目指していくのか。

答 弁 村 長

真狩フラワーセンターは、基幹産業の農業の振興促進、さらには高齢化、後継者不足といった厳しい農業情勢の中、作物の選択肢を広げるとともにリスクを分散した農業経営の安定及び小規模農業の展開を図るため、戦略作物として花き生産を促進し、新たな農業を展開するために、平成9年に建設された。

その後、公社の運営が低迷し、平成18年に直売所や公衆トイレなど周辺整備を行い道内89番目の「道の駅」として認定をいただき、入込増を図りながら、安定した運営に取り組んできた。

昨年度は、園芸部門では、取引店舗の閉鎖や花き市場の低迷、大型ホームセンターの影響により大幅な売上げの減少となったが、農産部門では例年並みの売上げとなり、特に本年4月からふるさと納税などの取扱いが伸びている。

現状では、園芸部門での収益増は難しく、切り花共選施設利用者の減少もあるため、今後はアスパラガス、ユリ根、馬鈴しょなど地場農産物の扱いにシフトし、販売強化を取り進めていくことが道の駅利用者への便宜を図ることにつながっていくと考える。

さらに本年度から研修センターの施設維持管理業務などによる収益増や、遊休施設の有効利用と運営費用の削減に努めながら、収益を確保し、経営の改善を図りたい。

今後の振興公社の運営は、総務省の地方公営企業等経営アドバイザー派遣制度を活用し、適切な経営診断や経営健全化の助言をいただきながら進めていく。

近隣町村での量販店の進出などにより、依然として売上げの増大を図るには厳しい状況の中、新鮮・安全な農産物の提供や独自イベントの開催、観光PRなどにより魅力ある道の駅を目指す。

質 問 佐々木議員

今後の進め方は理解するが、公社全体の売上利益が実際にどのようになっているのか、経営診断の手法を取り入れながら分析検証をやっていくことも一つの手法ではないか。

本年度は既に事業がスタートしているが、外的環境、また内的環境の変化により、どのような状況になっていくのか不透明な部分もあるが、期中での改善実施を含めて、次へのアクションを起こしていくことも必要ではないか。

答 弁 村 長

真狩フラワーセンターは、5月のゴールデンウィークから10月中頃までの入込みが非常に多く、売上げもその期間に集中している。冬期間は、管内どこの道の駅を見ても入込みが少なくなる中、本村ではユリ根という特産物を求めて道の駅に来られるお客さんもいるように見受けられる。

そのような中、当然、本年度の中間でいろいろ検討することも必要であり、まずは総務省に申請をしている地方公営企業等経営アドバイザーの意見をいただきながら、今後の方向性を検討したい。

フラワーセンター開設当初は本村農業の戦略作物として花きを取り入れていこうということで出発したが、実際に始めて、冬期間にハウスで暖房をしながらの花の栽培・育成には全然採算が取れないということがわかった。また、近年は、ブロッコリー、だいこん、にんじんなどの野菜のほうが花きよりも労力的に比べても生産性が上がることから、園芸部門を縮小しながら、農産物の販売にシフトを置いて、経営の改善を図っていきたい。



▲真狩フラワーセンター

審 議 結 果

6月19日

後志教育研修センター組合議会議員の選挙

指名推選により、向井忠幸議員が当選されました。

■報告第1号

平成29年度 真狩村一般会計繰越明許費繰越計算書について

…………… 報告済み

○畑作構造転換事業

…………… 7740万円繰越

○担い手確保・経営強化支援事業

…………… 1945万4千円繰越

○団体営農業基盤整備促進事業圃場等整備工事

…………… 299万2千円繰越

■承認第1号

専決処分の承認を求めることについて（平成30年度 真狩村簡易水道事業特別会計補正予算「第1号」）

…………… 報告承認

前年度繰上充用金25万円を専決で追加し、予算の総額を3億1116万5千円としたものです。

■承認第2号

専決処分の承認を求めることについて（平成30年度 真狩村一般会計補正予算「第1号」）

…………… 報告承認

定通体連全道大会出場補助金10万2千円を専決で追加し、予算の総額を29億4387万9千円としたものです。

■同意第1号

真狩村固定資産評価審査委員会委員の選任について

…………… 選任同意

住所 真狩村字真狩47番地2

氏名 曾根 勉 氏

（再任，任期 平成30年9月27日～3年間）

■議案第1号

真狩村税条例等の一部改正について

…………… 原案可決

地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、本条例の一部を改正するもので、主な改正事項は、村民税（個人）所得課税の見直し、固定資産税（土地）の負担調整措置の延長、生産性向上特別措置法に基づく中小企業の設備投資の支援、村たばこ税の見直し等を行うものです。

■議案第2号

真狩村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

…………… 原案可決

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するものです。

■議案第3号

平成30年度 真狩村一般会計補正予算（第2号）

…………… 原案可決

耕心寮煙突改修工事1400万円追加、真狩小学校ボイラー更新工事实設計業務委託556万円追加、二酸化炭素排出削減促進事業委託480万1千円追加、公民館地下油タンク改修工事285万2千円追加など、合計3711万6千円を追加し、予算の総額を29億8099万5千円とするものです。

■議案第4号

平成30年度 真狩村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

…………… 原案可決

国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金返還金（平成29年度分）6千円を追加し、予算の総額を1億3490万5千円とするものです。

■議案第5号

平成30年度 真狩村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

…………… 原案可決
施設等維持修繕費50万円を追加し、予算の総額を3億1166万5千円とするものです。

■議案第6号

平成30年度 真狩村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

…………… 原案可決
ストックマネジメント計画策定委託100万円を減額し、予算の総額を1億6016万6千円とするものです。

意見書

次の意見書を可決し、関係機関に提出しました。なお、要旨は要約してあります。

○意見書の件名

2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

○提出先

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生規制改革担当）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）

○要旨

地方自治体は、社会保障への対応、地域交通の維持、森林環境政策の推進など果たす役割が拡大する中で、人口減少対策、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面している。

一方、公共サービスを提供する人材確保を進めるため、これに見合う財源が必要であるにもかかわらず、社会保障費の圧縮や「公的サービスの産業化」など地方財政をターゲットとした歳出削減に向けた議論が加速している。財政健全化目標を達成するために歳出削減が行われ、結果としてサービスが抑制・削減されれば、住民生活と地域経済に大きな影響を与えることになる。

また、自治体基金は景気動向による税収の変動、人口減少による税収減や地域実情を踏まえた政策課題に対応する目的で積み立てており、財政的余裕によるものではないことから基金残高を地方財政計画に反映させて地方交付税を削減するべきでない。

2019年度の政府予算と地方財政の検討に

あたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすために必要な施策を講ずるよう要望する。

○意見書の件名

北海道主要農作物種子条例の制定に関する意見書

○提出先

北海道知事

○要旨

我が国の食と農を支えてきた主要農作物種子法（以下種子法）が本年4月1日に廃止されたことにより、今後、稲などの種子価格の高騰、地域条件等に適合した品種の生産・普及などの衰退が心配されている。また、地域の共有財産である「種子」を民間に委ねた場合、長期的には世界の種子市場を独占する遺伝子組換え企業が日本の種子市場を支配していく懸念も指摘されている。このことは、我が国の食の安全・安心、食料主権が脅かされることであり、国民・道民にとっても大きな問題である。

また、種子法廃止法案の可決に当たっては、優良な種子の流通確保や引き続き都道府県が種子生産等に取り組むための財政措置、特定企業による種子の独占防止などについて、万全を期すことを求める附帯決議がなされている。

よって、北海道における現行の種子生産・普及体制を生かし、本道農業の主要農作物の優良な種子の安定供給や品質確保の取組を後退させることなく、農業者や消費者の不安払拭のために、北海道独自の種子条例を制定するよう、強く要望する。



平成30年 第3回臨時村議会

平成30年第3回臨時村議会は4月27日に招集され、会期を1日間と決めた後、工事請負契約の締結2件を審議し、全て原案のとおり可決し閉会しました。

審議結果

■議案第1号

工事請負契約の締結について

……………原案可決

○契約の目的 まっかり温泉3号井掘削工事

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 6264万円

○契約の相手方

札幌市白石区菊水9条2丁目4番18号
アーストラストエンジニアリング株式会社
代表取締役 吉國 富雄

■議案第2号

工事請負契約の締結について

……………原案可決

○契約の目的 配水管布設替工事

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 1億2852万円

○契約の相手方

真狩村字真狩87番地
横山建設株式会社
代表取締役 横山 喜貞

平成30年 第4回臨時村議会

平成30年第4回臨時村議会は5月14日に招集され、会期を1日間と決めた後、工事請負契約の締結2件を審議し、全て原案のとおり可決し閉会しました。

審議結果

■議案第1号

工事請負契約の締結について

……………原案可決

○契約の目的 平成30年度公営住宅建設工事(錦b団地1・2号棟)

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 1億6740万円

○契約の相手方

瀬尾・村上経常建設共同企業体
代表者 倶知安町北3条東2丁目7番地
瀬尾建設工業株式会社
代表取締役社長 瀬尾 友一

■議案第2号

工事請負契約の締結について

……………原案可決

○協定名 真狩村特定環境保全公共下水道真狩村浄化センターの建設工事委託に関する協定

○協定の総額 8500万円

○協定の相手方

東京都文京区湯島2丁目31番27号
地方共同法人日本下水道事業団
理事長 辻原 俊博

○建設工事の対象

対象

名称 真狩村特定環境保全公共下水道真狩村浄化センター

位置 真狩村字緑岡234番地

排除方式 分流式

処理方法 オキシデーションディッチ法

処理能力 日最大0.9千立方メートル

内容

電気 監視制御施設・受変電施設
・水処理計装施設 一式

総務産業常任委員会

所管事務調査

6月7日に委員会を開催し、次の事項について担当課より説明を受け、調査を行いました。

(1) 地方創生について

【調査の概要】

平成29年度に実施した主な事業と、平成30年度実施の地方創生関連事業について説明がされた。

研修センター改修事業は、しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランと連携した、農業ヘルパー確保のための施設で、4月10日から利用が開始されている。現在の利用状況は、世帯用1戸、単身用8室のうち、世帯用と単身用3室が入居中であり、3室が6月下旬から入居予定、他の1室はマッチングプランのために確保しており、残り1室について入居者募集を行っている。施設管理は、フラワー振興公社で週2回の内部の清掃などを実施している。

平成29年度関連事業の中で、しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランでの就業フェアでは、142件（前年度83件）の問い合わせがあり、12名が就業した。結婚新生活支援事業補助では、3組に、合計50万5千円の助成を行った。

平成30年度地方創生関連事業の中で、ようてい・西いぶり広域連携会議では、6月22日から新たに就航する宮古－室蘭フェリー航路を活用した地域間PR交流事業を実施する。民間賃貸共同住宅建設補助金では、3月19日から5月11日まで公募を行ったが、応募がなかったため、7月10日まで期間を延長して再募集をしている。本年度は、新たにご当地特産品開発支援補助を行うほか、継続して、しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン・創業支援事業補助・ひかり団地宅地造成事業・防災行政無線デジタル更新工事・総合戦略施設設備補助・結婚新生活支援事業補助・高校生カフェ事業・観光プロモーション事業・英語学習講師業務委託・まっかり産業祭り開催事業などを行っている。

【主な質疑】

Q 向井委員

平成29年度創業支援事業補助の新規創業2件286万円の事業内容について。

A 酒井総務企画課参事

上限200万円で創業に係る店の新築、改修の経費の2分の1の助成をした。

Q 陰能委員

本年度から結婚新生活支援事業補助に34歳以下の年齢制限が付された理由は。

A 酒井総務企画課参事

国の助成事業と併て村が一部を負担する事業で、国で年齢制限を付けたため。

Q 佐々木委員

しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランに関連して、喜茂別町では、無料職業紹介所を設置したが、管内でそういう動きがあるか。また、外国人研修生・労働者の関係で、十勝では農協が中心となり検討しているようだが、情報をつかんでいるか。

A 酒井総務企画課参事

喜茂別町の動きは聞いているが、他の団体については聞いていない。外国人の労働者の派遣制度の関係については、入国管理局の手続きが厳しく、途中で職種を変えることはできない現状の中で、十勝では、農協という大きな組織で雇い、その業務の範囲内で就業できるような仕組みで、道でもグローバルに使えるようなスタイルを模索していると聞いている。

Q 向井委員

しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランで、当村では何名就労しているか。

A 酒井総務企画課参事

2名が研修センターを利用して就労している。

Q 向井委員

村の総合戦略の取組事業の、人材派遣・人材バンクの組織の設立は、具体的にどのように進めていくのか。

A 酒井総務企画課参事

この取組は以前からの課題となっており、単独で組織を作って労働者の仲介をしていくことは難しいが、将来的に必要であることから、一項目載せている。現段階ではしりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランを先行して行うことから始めたい。

Q 向井委員

真狩村は、基幹産業が農業であり、農業者の高齢化・担い手不足の中で、各農家の規模拡大が進み、労働力不足は深刻な状態にあるので、課題解決に向けて早急に取り組まなければならないのではないかと。

A 酒井総務企画課参事

この問題については農協、産業課と連携しながら、また近隣町村の事例も調査しな

がら検討していくべきと考える。

Q 佐伯委員

民間賃貸共同住宅等建設補助は30年度まで実施ということになっているが、本年度の応募がまだない中での来年度以降の考えは。

A 酒井総務企画課参事

この事業は今年で一旦終了するが、ひかり団地の造成事業も始まっている中で、その兼ね合いもあるので、民間住宅への助成が良いのか、宅地造成にシフトしていくのが良いのか、今年度の課題も含めて、全体的に内部で調整し、次年度に向けて検討したい。

Q 佐伯委員

今、後志振興局で行っている空家バンクなどと連携しながら、村が村内の住宅の売り手・買い手を仲介するような、効果的な仕組みを作る考えはないか。

A 酒井総務企画課参事

横のつながりを持ちながら情報を共有し、村のサポート体制などについて内部で検討しながら進めたい。

(2) 真狩高校の運営について

【調査の概要】

平成30年度生徒の状況、耕心寮の入寮状況並びに寮の施設整備について説明がされた。

平成30年度の入学者数は42名で、昨年度より16名の増となった。増加の要因として、製菓コースの取組が浸透していることと、平成30年度から管内の入学者に対する通学費の補助を実施したことなどが増加につながったと考えられる。高校全体で97名の生徒数となっている。

耕心寮の状況について、平成30年度の入寮生は51名（昨年度45名）となったことから、51名以上で配置される道費負担の加配教諭が1名配置されることになった。

耕心寮の施設整備について、平成30年度は女子生徒の入寮生が増加したため、こ

れまで未使用の3室を新たに使用することになったが、暖房が設置されておらず、本定例会で64万3千円の補正予算を計上し、整備を図る。また、平成29年度のアスベスト成分検査により耕心寮A棟の煙突内にアスベスト成分の付着が確認され、飛散はされていないが、安全面での対策が緊急を要することから、既存煙突を封鎖し、新たに煙突設置を行うため、本定例会で1400万円の補正予算を計上し、工事を行う。



▲耕心寮A棟

【主な質疑】

Q 佐伯委員

女子生徒の増加に伴い、今回3室の暖房設備の整備を実施したが、ほかにまだ暖房設備が行われていない部屋はあるのか。

A 西田教育委員会次長

今回の改修で全室終了する。

Q 向井委員

煙突内のアスベストの付着は、いつ判明したのか。

A 西田教育委員会次長

平成29年9月11日に煙突の検査を実施し、12月に報告を受けた。

Q 向井委員

12月に判明して、なぜ平成30年度当初予算に組めなかったのか。1400万円という高額なものは当初から見るべきではないか。

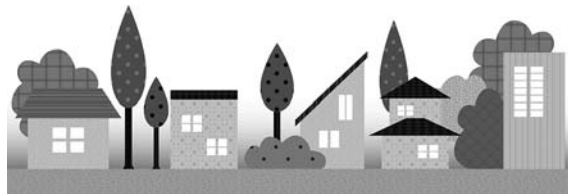
A 西田教育委員会次長

今回の改修工法の事例がなく金額が不明だったため、平成30年度当初には、実施設計の予算を組み、それが終了した段階での補正という形になった。仮に昨年度に実施設計が終了しても、当初予算での工事費の計上は間に合わなかった。今後は高額な事業については、できるだけ当初予算で組むよう進めたい。

◎閉会中の所管事務調査申出事項

平成30年第2回真狩村議会定例会において、総務産業常任委員会は、閉会中の所管事務調査事項について次のとおり申出することに決定した。

- (1) 地方創生について(総務企画課)
- (2) 除雪事業について(建設課)
- (3) 真狩高校の運営について
(教育委員会)



村政はあなたのために… 議会を傍聴しましょう!!

- 村議会定例会は、年4回(3・6・9・12月)開きます。
- 村議会の臨時会は、必要に応じて随時開きます。



お気軽においでください!!

※真狩村議会は、「飲酒運転根絶宣言」を決議しています!

議 会 活 動

印南正治議員に北海道町村議会議長 会表彰

去る6月12日に開催された北海道町村議会議長会定期総会において、印南正治議員が議員15年以上の功績に対し自治功労者表彰を授与され、第2回定例会（6月19日）開会前に板敷議長から伝達されました。



▲印南議員

北海道町村議会議員研修会

7月3日、札幌コンベンションセンターにおいて、全道144町村の町村議会議員が一堂に会して、平成30年度北海道町村議会議員研修会が開催されました。第1



部は歴史家・作家 かく こうぞう 加来耕三氏から「明治維新から150年、現在そして未来を考える」と題して、歴史を具体的に仕事や日常生活に活用するには、物事を判断するとき立ち止まり地に足を付け、奇跡や偶然を排除して、常識的に考える能力を身に着けることが大切である。また、未来は過去と現代をつなぐ線上にあり、物語に出てくるような突然の飛躍はあり得ないなど、歴史を正しく客観的にとら

えることの重要性を学びました。

第2部では、日本大学法学部教授 いわい ともあき 岩井奉信氏から

「現代日本政治と政局のゆくえ」と題して、現在の政権は長期化し安定しているが、数年先の政治情勢は非常に混迷し、不透



明な時代が訪れるかもしれない。そして、不安定な政局に負けないように、各自治体は今からしっかりと身構え、準備し、地域の特性を生かしたアイデアを持ち、どのような時代にも負けない、強い自治体であってほしいと話され、議会としても気を引き締めて村政に携わらなければならないと、決意を新たにしました。



後志町村議会議員パークゴルフ大会

7月12日、岩内町いわないパークゴルフ場・泊村カブトラインパークゴルフ場において、141名の町村議会議員が参加する中、第24回後志町村議会議員パークゴルフ大会が開催されました。真狩村議会は、個人の部で向井副議長が9位に入賞し、女性の部では福田議員が4連覇を達成しました。



▲女性の部で4連覇を達成した福田議員



▲開会式



議会は公開が原則です！

公民館図書室に会議録の写しを置いてありますのでご覧下さい。

- 平成30年
4月
24日 アグリテック真狩内覧会
(各議員出席)
27日 平成30年第3回臨時村議会
- 5月
8日 後志総合開発期成会定期総会
(倶知安町、板敷議長出席)
14日 平成30年第4回臨時村議会
議員協議会
18日 商工会総会 (板敷議長出席)
19日～20日
釈尊降誕花まつり(板敷議長出席)
22日 北海道新幹線建設促進後志・小樽
期成会総会、北海道横断自動車道
黒松内・小樽間建設促進期成会総
会、後志総合開発期成会小樽・後
志要望運動
(小樽市・倶知安町、板敷議長出席)
25日 後志総合開発期成会道内要望運動
(札幌市、板敷議長)
26日 真狩中学校体育大会
(各議員出席)
- 31日～6月1日
後志総合開発期成会中央要望運動
(東京都、板敷議長出席)
- 6月
4日 後志女性議員協議会臨時総会
(倶知安町、福田議員)
6日 春季消防演習 (各議員出席)
7日 総務産業常任委員会
9日 真狩小学校運動会 (各議員出席)
道議会議員村田憲俊羊蹄山麓観桜
会 (倶知安町、板敷議長出席)

- 10日 御保内小学校・御保内へき地保育
所運動会 (各議員出席)
11日 第13回細川たかし杯パークゴル
フ大会運営委員会(板敷議長出席)
12日 後志町村議会議長会臨時総会、北
海道町村議会議長会第69回定期
総会(札幌市、板敷議長出席)
羊蹄山ろく消防組合議会第1回臨
時会
(倶知安町、陰能・佐々木組合議員出席)
12日～13日
羊蹄山麓町村議会正副議長会臨時
総会(札幌市、板敷議長出席)
15日 議会運営委員会
17日 羊蹄山登山祈願祭及び金刀比羅宮
例祭 (板敷議長出席)
19日 第2回定例村議会
- 7月
2日 苫前町議会来村 (板敷議長対応)
3日 北海道町村議会議員研修会
(札幌市、全議員出席)
11日 新十津川町議会来村
(板敷議長対応)
12日 後志町村議会議員パークゴルフ大
会(岩内町・泊村、各議員出席)
14日 まっかり保育所運動会
(各議員出席)

寄付行為の禁止

- 議員は、選挙区内の方にお金や物を送
- ることは、公職選挙法で禁止されており、
- 有権者が求めてもいけません。
- ご理解をお願いします。

編集後記

今月号の表紙は、真狩高
校2年生と真狩小学校・御
保内小学校4年生合同による「大豆学習」、本年度
1回目の集合写真です。この取組は、3年前から
真狩高校が行っている「大豆100粒運動」で在来
種の大豆「鶴の子」の作付けから収穫、豆腐作り
までの作業を、昨年から村内の小学生と一緒に
行っているものです。

各学校間連携事業は、普段は接点の少ない真狩
と御保内の小学生、小学生と高校生などが一つの
ことを一緒に取り組む中で協力し合い、刺激を受
け、お互いに成長する良い機会になるのではない
かと思います。このような事業は、小さな村だか
らこそできる地域に根ざした取組だと思いたすの
で、今後もこの環境を生かした中で、子どもたち

が様々な体験を通して大きく成長することを期待
しています。

議会だより165号をお届けします。平成30年第
2回定例会、第3回臨時会、第4回臨時会を中心
に編集しました。

■発行責任者

議 長/板敷伊佐夫

■広報編集委員会

委 員 長/向井 忠幸

副委員長/佐伯 秀範

委 員/陰能 裕一

委 員/佐々木義光